

(学校運営協議会・報告様式)

令和4年度 第1回 鈴鹿市立稲生小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和4年5月13日(金) 9:30~12:00

2 場 所 図書室

3 あいさつ(学校長, 委員長)

学校長: 令和4年度が始まり1か月が経ったが, コロナウイルスの猛威が収まらず教職員や児童の罹患が絶えない。そのような状況の中でも学びを止めないよう教育活動の充実を図っている。ボランティアや地域の方の力をお借りして取り組んでいく。今年度707名の児童でスタートした。全体的には落ち着いているが発達状況や家庭によっては課題を抱えている児童もいる。「いじめアンケート」を実施し丁寧に聞き取りを行う。現在も対応中である。

4 協議内容

(1) 委員長・副委員長の承認

(2) 学校経営方針について

学校長より説明

- ・若い教員も多く教員の資質向上を目指す。
- ・人権教育, 特別支援教育をベースとした教育活動を推進する。
- ・今年の合言葉は「みんながあんしんできる稲生小学校」。
- ・地域の方, ゲストティーチャーとしての力をぜひお借りしたい。

(3) 学校運営協議会の運営について

- ・地域コーディネーターより  
5月6日(金)の学校支援ボランティア協力者会議の報告
- ・年間予定について

(4) 予算執行計画について

- 「学校運営協議会」の通帳をつくってほしい。夢協の預かり金を子どもたちに還元できるように使っていくとよいのでは。

(5) 安心・安全の取り組み

①危機管理マニュアルについて

- 夢協でも昨年「行方不明者ネットワーク」を作成した。この内容について「危機管理マニュアル」との整合性をとって, マニュアルの中に入れてほしい。

②通学途上で大地震が発生した場合の基本的な動き

③台風・大雨, 大雪時等の対応, 登下校について

④登校時の塩屋口交差点の安全について

水谷委員長より

- 朝の登校時に混雑がみられるため, 現状を調査した。より安全に児童が登校できるよう改善したい。通学路の変更についてはPTAで検討し承認してもらう必要がある。